



こめっこ

～ 学校給食だより～

令和6年(2024年)10月号外
食品ロス削減月間特集号



10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です

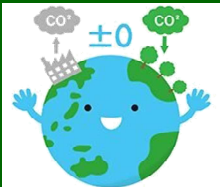
『食品ロス』とは、食べ残しや賞味期限切れなど、**まだ食べられるのに捨てられてしまう食品**のことです。日本では、年間で約472万トン(※令和4年度推計)の食品ロスが発生しています。この量は、日本中の人々が、**毎日おにぎり約1個分の食べ物(約103g)**を捨てていることになります。食品ロスを減らすためにできることを、みんなで考えて行動していきましょう。



め みんなが知ろう みんなで減らそう 食品ロス

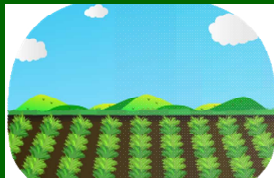
食品ロス削減の効果

地球温暖化を防ぐ



燃やすごみが減るから、燃やすための燃料も、燃やしたときに出るCO₂も減らせる。

土地や水を守れる



食品の生産に使われた土地や水など、限りある資源をムダにせずすむ。

お金のムダを減らせる



買い物で払ったお金をムダにせずすむ。お金をかけてごみ処理場で燃やすごみも減る。

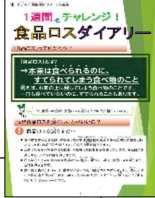
食料自給率が上がる



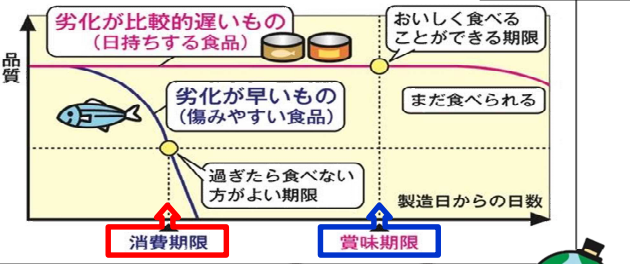
輸入に頼る量を減らすことができ、日本の食料自給率が上がる。

米子市の取組

- ◎ 「食品ロスダイアリー」等の普及啓発
- ◎ 期限表示の正しい理解の啓発 等

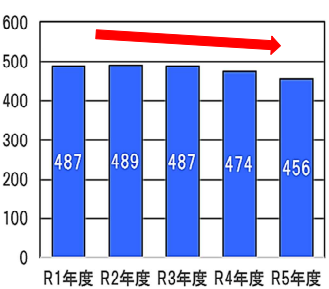


消費期限と賞味期限のイメージ

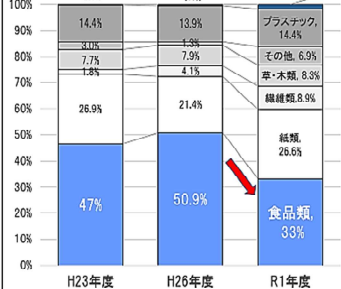


米子市の可燃ごみの量は
少しずつ減っています。

1人1日あたり可燃ごみの量(g)



家庭から出る可燃ごみの内訳



以前は、家庭から出る食品ロスは、可燃ごみの約半分をしめていましたが、令和1年度には33%にまで減ってきています。

資料提供: 米子市クリーン推進課

(参照) 第3次・第4次米子市一般廃棄物処理基本計画・よなごみ通信

学校給食の取組

- ◎ 給食の残食をリサイクル



リサイクルには米子市のお金が使われています。

- ◎ 食品ロスについての学習

10月は、中学1年生の教室で『食品ロスを考えよう～世界から見た日本の食～』について、給食時間の指導を行います。

- ◎ 食品ロス削減献立の実施

10月30日(水)

- ・米飯 ・牛乳
- ・鶏の照焼
- ・おからサラダ
- ・担々スープ

スープには豆腐、サラダには、豆腐を作るときにできる「おから」を入れます。

できるだけ野菜の皮は薄くむきます。

給食の残食

令和5年度は、令和4年度より全体的に残食が減少しました。

